

Vol.27
2016年3月31日発行
熊本県中央区黒髪3丁目12-16
ルーテル学院中学校
印刷:(株)アイキャッチ

たくましい身体 からだ 豊かな知性 はな 清らかな心を育み
世界中に笑顔の薔薇を咲かせるルーテル学院中学生

第69回ルーテル学院中学校卒業式 卒業おめでとうございます。

2016.3.11 FRI



みんなで最後の合唱を!
3年間の思い出と共に高校生になります



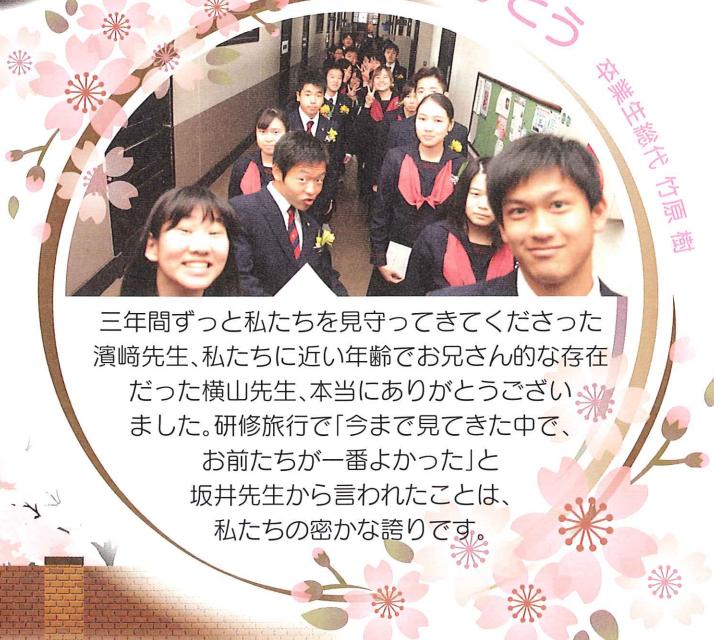
学院聖句 私が来たのは、羊が命を受けるため、
しかも豊かに受けるためである
ヨハネによる福音書 10章10節



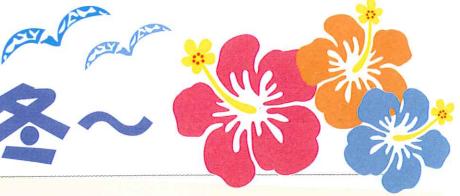
やわらかな日差しが春の訪れを感じさせる3月11日(金)、ルーテル学院中学校では69回目となる卒業式が行われました。式の中で53名の卒業生が歌った「桜の雨」は、その迫力のある声量と美しいハーモニーで、参加していた全ての人的心に、いつまでも響き渡っていました。



3年間ありがとうございました



MEMORIES in 沖縄研修旅行～2016冬～



3泊4日の旅



首里城を
みんなで満喫



2年1組
田代クラス



2年2組
白石クラス



全員しゅうめん



取材+れきやん

旅行を終え

研修旅行で学んだ大切なこと

研修旅行實行委員長 赤峰莉音

私たちは研修旅行を通して、これから未来へと繋げていかなければならぬ大切なものを学びました。一つ目、戦争は、言葉も、愛情も、自然も、命も、全てを奪ってしまい、それらを奪われる経験をした人は、今、当たり前のように、失われずにあるそれらを大切にことができる。私たちは、どうだろう。今、この当たり前の生活を大切にしていかなければならない、その言葉の意味を心から学びました。二つ目、平和と戦争のない世の中は「イコール」ではないということ。戦争が起きていないても、友だちや家族、大切なものがなくなってしまうということは、平和ではないということも学ぶことができました。こういった平和を築くためには、世界中のみんなが手を取り

合っていくことが大切だと学びました。最後に、研修旅行の最終日に訪れた対馬丸記念館の入口に「いま『対馬丸』を語ること」というタイトルで、その記念館が開館したときの大きな願いが掲げられていました。とても心を揺り動かされるメッセージでしたので、最後にその言葉をもって、私の感想を締めたいと思います。いま私たちが対馬丸を語ること。それは、何なのでしょう？今も世界では報復の連鎖が子どもたちから新しい夢と希望を奪っています。この報復の連鎖を断ち切る努力を一人ひとりがすること。これこそが、対馬丸の子どもたちから指し示された私たちへの「課題」なのではないでしょうか。

旅行を終えて



平和とは？フィールドワークを通して

ルーテル学院中学校では、中学2年生が研修旅行で学んだことを、中学1年生に伝えるという形式で、3年前より平和学習を行っています。平和の礎（いしじ）、糸数アプチラガマ、ひめゆりの塔、そして、対馬丸記念館を訪れ、学んだ数々のことを次世代に伝えていくために、精一杯準備をして発表に臨みました。その発表の中から、今回は「平和の礎」を抜粋して以下に紹介します。

平和の礎(いしじ)を訪れて 研修旅行実行委員 岡本 咲

- 平和の礎は、太平洋戦争・沖縄戦終戦50年を記念して、1995年6月23日に建設されました。沖縄の歴史の中で培われた「平和のこころ」を広く伝え、世界の恒久平和を願うためです。礎とは、建物などの基礎の「いしづえ」を沖縄の方言で「いしじ」と発音することに由来します。
- 平和創造の「いしづえ」となることを期待して作られました。平和の礎には、沖縄戦で亡くなられた一人ひとりの名前が刻まれています。日本人だけでも22万6764人、そのうち沖縄県民の方々は14万9362人です。また、県内出身者は名前が分からない場合でも刻まれています。例え、名前が分からなくても、その方は生きていた、という証になるからです。研修旅行で平和の礎を見学中、熊本県出身者のゾーンに、私の曾祖父の名前が刻まれていました。私の父によると、曾祖父は沖縄戦で戦い、現地で戦死したとのことでした。遺骨はまだ見つかっていないそうです。しかし、遺骨がなくても名前が刻まれているというだけで、生きていたということが分かります。祖母が「名前だけでも残っていてよかった」と言った気持ちが分かりました。曾祖父のように、熊本出身で現在、礎に名前が刻まれている方は1971人です。沖縄戦では、沖縄県民の方々以外にも、他の県からもたくさん戦争へ行っています。私たちは礎に刻まれている名前を見ることしかできませんが、命の重さを感じることができるということを学びました。





2015年度1年間での 英検の結果(準2級以上合格)

1級合格	中学2年生	1名
準1級合格	中学2年生	1名
2級合格	中学2年生	1名
準2級合格	中学3年生	2名
	中学2年生	1名
	中学1年生	1名

今年も大変よく頑張りました
また来年もさらに
上を目指して頑張ろう！

受験結果報告

ルーテル学院中学校では、一年間かけて学んだ英語の力を試すために、毎年1月に英検全員受験を行っています。1年生は5級以上、2年生は4級以上、そして3年生は3級以上と目標を定めて英検に臨みます。

今年は、全員受験において、1級合格1名、2級合格1名、準2級合格3名と、上位の級での合格が多数出る結果となりました。また、年間を通して、準1級も1名、準2級もさらに1名と、中学生の目標級を大きく超える級に多数合格者が出ていた素晴らしい年となりました。

受験に向けて私が取組んだこと

2年2組 ベンケ祐子

週に1回、外国人の先生と英検の勉強をしたり、社会や理科など英語以外の授業で学んだ内容を英語でまとめて伝えるような訓練をしたり、自分なりに工夫した勉強をしました。



2年2組 山田シ阿拉

英検課外で使用しているテキストを使って、英検課外と家庭学習を徹底して勉強をしました。



1年2組 岩下唯愛

英検用の問題集を買って、一つの問題集を信じ、何度も何度も解きなさいて、試験に挑みました。



慈愛園を訪問して



12月22日(火)、クリスマス礼拝の午後、中学1年生69名は慈愛園を訪問し、入所者の方々に手作りのクリスマスカードを渡すなど、心と心の交流を行いました。



慈愛園訪問を通して 宗教委員 1年1組 岡田紗和

私たち、この慈愛園訪問をするにあたって、色々な準備をしました。特にがんばったのは、クリスマスカードを作ることです。どのようなカードが喜んでもらえるかということを考えながら一生懸命作りました。実際にカードをあげたら満面の笑みで喜んでくれました。それを見て、本当にやさしい気持ちになりました。そして、がんばって準備してよかったと実感しました。本当によい経験となりました。



中学3年生 語学研修旅行 ～カナダ～



語学研修旅行の最終日を迎えて

3年1組 松山 悟

最初カナダに来たときは、授業とかがあつて嫌だなと思っていた。しかし今では、1週間はとても短かったと感じており、もっとカナダで英語の勉強をしたいと強く思うように変わっていました。自分の中では、学校でしっかりと授業に取り組み、上手に英語を話すことができると思っていました。カナダでの私のクラスは下の級でしたが、他の国から来ているクラスのみんなは、たくさん英語で話をしていて、とてもびっくりしました。ものすごく悔しかったです。日本に帰って、高校に入ってからは、今まで以上に真剣に英語に取り組み、高校を卒業する頃には、濱崎先生が驚くくらいに英語を話せるようになりたいです。

ルーテル学院中学校では、一貫生としてルーテル学院高校に進学が決まっている中学3年生を対象に、卒業式後に一週間から二週間ほどの期間、希望者を募って語学研修旅行を実施しています。3年間で身につけた英語の力を海外生活の中で実践し、国際性を身につける第一歩とすることを目的として毎年行っています。去年に引き続き、今年もカナダの地にて、4名の生徒が研修を行ってきました。



クラス紹介 一年間、ありがとうございました！



担任 横山 学 副担任 鶴山 克郎

3年2組は、横山先生を中心としたにぎやかで笑いの絶えないクラスです。初めは、なかなか統一してはいませんでしたが、体育大会や合唱コンクールなどの行事を通して、日々着々と団結・統一していました。私たち3年2組は、本当に最高で居心地の良いクラスでした。

担任 濱崎庸一 副担任 池山洋輔

3年1組は、休み時間に話が絶えないくらい元気で明るいクラスです。男女関係なく遊んだり、しゃべったり、全員が仲良くしています。また、授業中には、面白い発言なんかも飛び交います。時には、みんなが元気すぎて、先生から怒られるときもあります。しかし、メリハリのあるいいクラスでした。



Luther
Junior High School
Class
Introduction